

さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略新旧対照表

基本目標 1 働く場をつくる

具体的な施策名 ※第2版引用	変更項目	第3版（平成29年12月改訂）		第2版（平成28年11月改訂）	
		該当 P	内容	該当 P	内容
中小企業者のニーズの的確な把握と迅速に対応するための体制整備	KPI（変更）	19	支援件数 ※中小企業等経営支援関係 13件（H26 基準値） <u>40件</u> （H31 目標値）	19	支援件数 ※中小企業等経営支援関係 13件（H26 基準値） <u>20件</u> （H31 目標値）
革新的な設備投資や新商品・サービス開発への支援	KPI（変更）	20	<u>支援事業所数 ※ものづくり・商業・サービス開発支援補助金制度に係る書類作成等支援</u> 0社（H26 基準値） <u>2社</u> （H31 目標値）	20	<u>支援件数 ※開発等支援関係（ものづくり・商業・サービス開発支援補助金制度に代わる新制度に基づく）</u> 0件（制度なし）（H26 基準値） <u>3件</u> （H31 目標値）
産学官連携の強化による新商品開発や技術の高度化の促進	担当課（追加） 具体的な施策（変更）	20	商工観光課、政策課、 <u>農林水産課</u> 徳島文理大学香川校の技術シーズと企業ニーズのマッチングを推進するための相談会等の開催や研究成果の情報発信を強化することにより、市内企業の新商品開発や技術の高度化の促進を図ります。また、徳島文理大学に対し、企業ニーズに応じた研究開発を <u>呼び掛けるとともに、産学官でアイデアを出し合い、新商品開発や調査研究にも取り組みます。</u>	20	商工観光課、政策課 徳島文理大学香川校の技術シーズと企業ニーズのマッチングを推進するための相談会等の開催や研究成果の情報発信を強化することにより、市内企業の新商品開発や技術の高度化の促進を図ります。また、徳島文理大学に対し、企業ニーズに応じた研究開発を <u>呼びかけます。</u>

具体的な施策名 ※第2版引用	変更項目	第3版（平成29年12月改訂）		第2版（平成28年11月改訂）	
		該当 P	内容	該当 P	内容
遊休農地の新たな活用への挑戦	具体的な施策 （変更）	21	地域循環型新産業づくりへの取組を支援し、遊休農地の再活用と雇用の創出につなげるため、温暖で雨の少ない瀬戸内式気候に適して栽培しやすく、健康志向の現代人の需要が期待できるオリーブ等を、中山間地域の遊休農地等で栽培するよう推進します。	21	地域循環型新産業づくりへの取組を支援し、遊休農地の再活用と雇用の創出につなげるため、温暖で雨の少ない瀬戸内式気候に適して栽培しやすく、健康志向の現代人の需要が期待できるオリーブを、中山間地域の遊休農地等で栽培するよう推進します。
	KPI（追加）		<u>遊休農地活用事業で再生した農地面積 ※H28からの累計面積</u> <u>0ha（制度なし）（H28 基準値）</u> <u>2ha（H31 目標値）</u>		
農作物の産地化に向けた支援	KPI（変更）	21	農産品の販売額 ※JA報告による 10億9千万円（H26 基準値） <u>13億円</u> （H31 目標値）	21	農産品の販売額 ※JA報告による 10億9千万円（H26 基準値） <u>12億8千万円</u> （H31 目標値）
「平賀源内」をキーワードにしたさぬき市ファンづくりの実践	KPI（追加）	25	<u>源内の改革プロジェクト収入額（開発商品販売額等）※H28からの累計額</u> <u>31万円（H28 基準値）</u> <u>120万円（H31 目標値）</u>		

具体的な施策名 ※第2版引用	変更項目	第3版（平成29年12月改訂）		第2版（平成28年11月改訂）	
		該当 P	内容	該当 P	内容
さぬき市に何度も訪れたくなる着地型旅行商品の開発	KPI（変更）	25	着地型旅行商品数 8件（H26基準値） <u>25件</u> （H31目標値）	24	着地型旅行商品数 8件（H26基準値） <u>20件</u> （H31目標値）
新たな観光資源の開発・掘り起こしと観光客誘致の推進	KPI（変更）	26	観光資源開発件数 ※H26年度からの累計件数 1件（H26基準値） <u>5件</u> （H31目標値）	25	観光資源開発件数 ※H26年度からの累計件数 1件（H26基準値） <u>3件</u> （H31目標値）
まちづくり寄附（ふるさと納税）の推進	KPI（変更）	26	まちづくり寄附額 ※ふるさと納税分に限る 310万円（H26基準値） <u>7,500万円</u> （H31目標値）	25	まちづくり寄附額 ※ふるさと納税分に限る 310万円（H26基準値） <u>1,300万円</u> （H31目標値）

基本目標2 人の流れをつくる（変える）

具体的な施策名 ※第2版引用	変更項目	第3版（平成29年12月改訂）		第2版（平成28年11月改訂）	
		該当 P	内容	該当 P	内容
若者世帯等の定住促進施策の拡充（三世代同居等の奨励）	KPI（変更）	29	結婚定住奨励金の交付数 52組（H26基準値） <u>95組</u> （H31目標値）	28	結婚定住奨励金の交付数 52組（H26基準値） <u>80組</u> （H31目標値）

基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

具体的な施策名 ※第2版引用	変更項目	第3版（平成29年12月改訂）		第2版（平成28年11月改訂）	
		該当 P	内容	該当 P	内容
子ども医療費助成制度の拡充	KPI（追加）	35	<u>子ども医療費の受給率</u> <u>78%（H28基準値）</u> <u>85%（H31目標値）</u>		
病児・病後児保育の継続	KPI（変更）	37	年間受入延べ人数 延べ441人（H26基準値） 延べ <u>650人</u> （H31目標値）	35	年間受入延べ人数 延べ441人（H26基準値） 延べ <u>580人</u> （H31目標値）
学校支援地域教育協議会の設置	具体的な施策名（変更）	38	<u>学校支援ボランティアを活用する学校等の拡充</u>	36	<u>学校支援地域教育協議会の設置</u>
	具体的な施策（変更）		<u>地域住民も参画しながら学校教育を支援する仕組みとして、3つの中学校区にそれぞれ「学校支援地域教育協議会」を設置しました。各協議会において、学校支援ボランティア活動の企画や広報活動等を継続し、学校支援ボランティアを活用する学校等の数を増やします。</u>		<u>地域住民の参画により、学校の教育活動を支援する仕組みをつくり、学校支援ボランティアコーディネーターの連絡調整で、様々な学校支援活動を実施するための「学校支援地域教育協議会」を中学校区単位で設置します。</u>
	KPI（変更）		<u>学校支援ボランティアを活用する学校等（保・幼・小・中・児童館）の割合</u> <u>90%（H28基準値）</u> <u>100%（H31目標値）</u>		<u>学校支援地域教育協議会設置数</u> <u>1地区（H26基準値）</u> <u>3地区（H31目標値）</u>

国際社会を担う 子どもたちの育 成支援	担当課(追加)	39	教育総務課、 <u>学校教育課</u>	37	教育総務課
	KPI(変更)		<u>外国語活動支援員(小学校)及びALT(中学校)の 配置率</u> 20% (小学校)、67% (中学校) (H26 基準値) 100% (小学校)、100% (中学校) (H31 目標値)		<u>ALTの配置率</u> 0% (小学校)、67% (中学校) (H26 基準値) 100% (小学校)、100% (中学校) (H31 目標値)

基本目標4 生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる

具体的な施策名 ※第2版引用	変更項目	第3版(平成29年12月改訂)		第2版(平成28年11月改訂)	
		該当 P	内容	該当 P	内容
高齢者の元気づく り支援(介護 予防・日常生活 支援総合事業)	KPI(追加)	43	<u>介護予防サポーター活動回数(出前講座・憩いの場・ お話ボランティアの実施合計回数)</u> <u>128回(H28基準値)</u> <u>146回(H31基準値)</u> <u>介護予防サポーター活動参加者数(出前講座・憩いの 場・お話ボランティアに参加した市民の人数)</u> <u>延べ910人(H28基準値)</u> <u>延べ1,000人(H31基準値)</u>		